

令和元年度下半期

(令和元年10月1日から令和2年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

電 気 事 業

工 業 用 水 道 事 業

地 域 振 興 事 業

県 立 病 院 事 業

宮 崎 県

令和元年度下半期

(令和元年10月1日から令和2年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

電 気 事 業

工業用水道事業

地域振興事業

宮崎県企業局

目 次

電気事業の業務状況

1	事業の概況	1	頁
2	経理の状況	2	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	5	〃
4	令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要	7	〃

工業用水道事業の業務状況

1	事業の概況	8	〃
2	経理の状況	9	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	12	〃
4	令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要	13	〃

地域振興事業の業務状況

1	事業の概況	14	〃
2	経理の状況	15	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	18	〃
4	令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要	19	〃

電気事業の業務状況

電気事業の令和元年度下半期の業務状況と令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、6つの河川総合開発事業等により建設した14発電所において発電を行い、電気を供給しています。

令和元年度下半期は、降雨量が少なかったことから、供給電力量は1億3,244万kWh余で、目標に対する達成率は89.4%、また、電力料金収入は22億7,558万円余で、目標に対する達成率は99.1%となりました。

(1) 供給電力量

(単位：千kWh)

月別	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				令和元年度 (B/A)	平成30年度
10月	34,427	31,420	△ 3,007	91.3%	178.8%
11月	22,544	12,620	△ 9,924	56.0%	63.6%
12月	18,954	10,292	△ 8,662	54.3%	83.8%
1月	16,054	13,135	△ 2,919	81.8%	70.1%
2月	20,651	18,399	△ 2,252	89.1%	79.1%
3月	35,558	46,578	11,020	131.0%	146.2%
下半期計	148,188	132,444	△ 15,744	89.4%	—
前年度下半期計	151,915	176,319	24,404	—	116.1%

※太陽光発電分は含みません。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 電力料金収入

(消費税込み 単位：千円)

区分	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				令和元年度 (B/A)	平成30年度
営業収益分	2,268,971	2,252,349	△ 16,622	99.3%	101.3%
基本料金 (定額料金)	2,106,958	2,107,489	531	100.0%	100.1%
電力量料金 (従量料金)	162,014	144,859	△ 17,155	89.4%	116.1%
附帯事業収益分	28,099	23,234	△ 4,865	82.7%	118.3%
小水力発電料金 (従量料金)	28,099	23,234	△ 4,865	82.7%	118.3%
下半期計	2,297,070	2,275,582	△ 21,488	99.1%	—
前年度下半期計	2,256,206	2,290,181	33,975	—	101.5%

※太陽光発電分は含みません。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 職員の状況

(単位：人)

区分	事務職	技術職	その他職員	職員計	うち再任用職員
下半期	26	84	0	110	5
前年度下半期	25	85	0	110	3

※各年度3月31日現在の人員（管理者を除く。）

2 経理の状況

収益的収入については、営業外収益の増等により、事業収益の収入率は 100.8%となりました。
収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は88.3%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

ア 収入		(消費税込み 単位：千円)		
科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	4,773,903	4,774,510 (2,292,026)	607	100.0%
電力料	4,715,896	4,719,055 (2,252,349)	3,159	100.1%
営業雑収益	58,007	55,455 (39,677)	△ 2,552	95.6%
附帯事業収益	82,840	83,010 (25,663)	170	100.2%
電力料（小水力発電）	77,410	77,520 (23,234)	110	100.1%
電力料（太陽光発電）	5,425	5,486 (2,426)	61	101.1%
附帯事業雑収益	5	3 (3)	△ 2	60.0%
財務収益	249,298	270,028 (138,264)	20,730	108.3%
営業外収益	93,037	114,947 (66,811)	21,910	123.5%
特別利益	272,444	272,444 (136,222)	0	100.0%
事業収益	5,471,522	5,514,940	43,418	100.8%
前年度事業収益	5,150,799	5,384,640	233,841	104.5%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出		(消費税込み 単位：千円)			
科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
営業費用	4,882,986	4,152,848 (2,469,366)	193,771	536,367	88.6%
附帯事業費用	75,013	66,723 (30,173)	0	8,290	88.9%
財務費用	44,375	44,374 (20,565)	0	1	100.0%
営業外費用	255,185	253,458 (157,375)	0	1,727	99.3%
特別損失	0	0 (0)	0	0	—
予備費	50,000	0 (0)	0	50,000	0.0%
事業費	5,307,559	4,517,403	193,771	596,385	88.3%
前年度事業費	5,072,651	4,504,637	47,212	520,802	89.6%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 資本的収入及び支出（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
工事負担金	2,646	2,022 (2,022)	△ 624	76.4%
固定資産売却代金	1	883 (883)	882	88,300.0%
貸付金返還金	69,967	69,968 (69,968)	1	100.0%
資本的収入	72,614	72,873	259	100.4%
前年度資本的収入	69,968	70,016	48	100.1%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	1,220,937	449,509 (443,047)	391,115	380,313	54.2%
企業債償還金	407,752	407,751 (205,497)	0	1	100.0%
予備費	100,000	0 (0)	0	100,000	0.0%
資本的支出	1,728,689	857,260	391,115	480,315	64.1%
前年度資本的支出	3,123,603	2,125,413	375,922	622,268	77.4%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 1,000万円以上）

令和元年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・上祝子発電所自動制御装置取替工事 73,136 千円
- ・浜砂発電所主回路復旧工事 72,128 千円
- ・田代八重発電所直流電源装置取替工事 25,057 千円
- ・財務会計システム改修業務委託 15,211 千円
- ・庁舎改修工事実施設計業務委託 12,606 千円
- ・綾第二発電所放水路改修工事 12,089 千円

(3) 損益計算書 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

収益の部は、電力料等により、51億 1,570万円余となり、費用の部は、41億 5,736万円余となった結果、9億 5,834万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	5,115,702 (2,448,118)	
営業収益	4,383,498 (2,084,401)	電力料など
附帯事業収益	76,436 (23,337)	
財務収益	270,028 (138,264)	
営業外収益	113,295 (65,893)	
特別利益	272,444 (136,222)	

費用の部	4,157,360 (2,423,314)	
営業費用	3,997,661 (2,341,519)	
附帯事業費用	66,377 (29,913)	
財務費用	44,374 (20,566)	
営業外費用	48,949 (31,317)	
特別損失	0 (0)	

当年度純利益	958,341	
その他未処分利益剰余金変動額	413,751	
当年度未処分利益剰余金	1,372,093	

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(4) 貸借対照表 (令和2年3月31日現在)

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	26,870,442	固定負債	2,460,878
電気事業固定資産	15,436,953	建設改良企業債	926,308
附帯事業固定資産	748,958	リース債務	9,952
事業外固定資産	132,237	引当金	1,517,617
固定資産仮勘定	375,013	雑固定負債	7,000
投資その他の資産	10,177,281	流動負債	4,177,614
流動資産	24,677,608	建設改良企業債	368,023
現金及び預金	822,051	リース債務	7,494
未収金	539,362	引当金	69,083
貯蔵品	2,103	未払金	902,951
短期投資	23,314,092	未払費用	576,892
		預り金	5,171
		雑流動負債	2,248,000
		繰延収益	806,777
		長期前受金	2,040,409
		長期前受金収益化累計額	△ 1,233,632
		負債合計	7,445,268
		資本金	28,510,221
		固有資本金	265
		繰入資本金	34,388
		組入資本金	28,475,569
		剰余金	12,350,798
		資本剰余金	321,823
		利益剰余金	12,028,975
		評価・換算差額等	3,241,763
		その他有価証券評価差額金	3,241,763
		資本合計	44,102,782
資産合計	51,548,050	負債資本合計	51,548,050

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

令和2年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科 目		金 額	内 容
電気事業固定資産		15,436,953	水力発電設備 13,596,447 送電設備 632,766 業務設備 1,207,741
附帯事業固定資産		748,958	小水力発電設備 671,370 太陽光発電設備 77,588
事業外固定資産		132,237	有形固定資産 78,093 分収林 54,144
固定資産仮勘定		375,013	建設仮勘定 375,013
投資 その 他の 資 産	長期投資	6,165,157	株式 3,331,274 出資金 9,160 長期貸付金 2,824,723
	基金	4,011,948	減債基金 1,294,331 濁水等欠損準備基金 1,200,000 特別修繕基金 986,071 退職給付基金 531,545
	その他資産	177	長期前払金 177
	現金及び預金	822,051	当座預金 522,051 定期預金 300,000
未収金		539,362	
貯蔵品		2,103	
短期投資		23,314,092	
合 計		51,548,050	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 企業債

令和2年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

ア 投資先別企業債明細

(消費税抜き 単位：千円)

投資先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
電気事業債	37,629,175	36,334,844	1,294,331	
川原発電所	7,415	7,415	0	
石河内第二発電所	9,885	9,885	0	
石河内第一発電所	3,248,875	3,223,713	25,162	
渡川発電所	4,051,000	4,006,342	44,658	
綾第一発電所	7,314,000	7,134,315	179,685	
綾第二発電所	4,056,000	4,020,198	35,802	
立花発電所	2,403,000	2,400,989	2,011	
三財発電所	2,328,000	2,102,376	225,624	
岩瀬川発電所	3,091,000	3,047,116	43,884	
祝子発電所	3,638,000	3,638,000	0	
上祝子発電所	1,327,000	1,211,457	115,543	
田代八重発電所	2,942,000	2,339,931	602,069	
浜砂発電所	1,436,000	1,416,107	19,893	
設備近代化	1,777,000	1,777,000	0	
公共事業債	12,000	12,000	0	
投資債	1,214,200	1,214,200	0	
災害債	20,000	20,000	0	
合計	38,875,375	37,581,044	1,294,331	償還率 96.7%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 借入先別企業債明細

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
財務省	14,964,404	14,417,750	546,654	
総務省	4,119,300	4,119,300	0	
地方公共団体金融機構	16,916,000	16,168,323	747,677	
宮崎銀行	1,986,620	1,986,620	0	
鹿児島銀行	383,000	383,000	0	
みずほ銀行	131,000	131,000	0	
農林中央金庫	288,000	288,000	0	
一般公募等	87,051	87,051	0	
合計	38,875,375	37,581,044	1,294,331	償還率 96.7%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 一時借入金

令和2年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

令和2年3月31日現在、他会計からの借入金はありません。

4 令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については経営基盤の強化と供給信頼性の向上に努め、電力の安定供給を図るとともに、公営企業として健全経営の維持と地域貢献の充実を積極的に推進します。

(2) 業務予定量

水力発電に係る年間供給電力量を計上しており、料金収入は昨年度に比べ2億5,868万円余の減を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	令和2年度	令和元年度	前年度比
年間供給電力量 (目標)	千kWh 480,060	千kWh 500,036	96.0%
料金収入 (目標)	千円 4,534,620	千円 4,793,306	94.6%

(3) 当初予算額

事業収益は、特別利益の減等により昨年度に比べ5億9,560万円余の減、事業費は、営業費用の増等により2,875万円余の増を見込んでいます。その結果、収支残は4億1,607万円余のマイナスを見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	4,875,920	5,471,522	△ 595,602	特別利益の減
	事業費	5,291,998	5,263,243	28,755	営業費用の増
	収支残	△ 416,078	208,279	△ 624,357	
資本的 収支	資本的収入	71,223	72,614	△ 1,391	工事負担金の減
	資本的支出	3,049,233	1,617,945	1,431,288	繰出金の増
	収支残	△ 2,978,010	△ 1,545,331	△ 1,432,679	

※資本的収支の不足額 2,978,010千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする予定

5 むすび

以上が、電気事業の令和元年度下半期の業務状況と令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、本県の豊かな水資源を生かした水力発電や再生可能エネルギー導入の取組などを通して、本県の産業経済の振興と住民の福祉の増進に寄与してまいります。

工業用水道事業の業務状況

工業用水道事業の令和元年度下半期の業務状況と令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、細島工業団地に工業用水を供給する目的で、昭和39年10月から給水を開始しており、給水能力は日量 125,000m³で、現在14者に給水を行っています。

令和元年度下半期は、日向市へ給水を行ったことにより、常時使用水量は 1,375万m³余で目標に対する達成率は 115.6%、給水料金収入は 2億 512万円余で、目標に対する達成率は 110.3%となりました。

(1) 給水状況

(単位：千m³)

月 別	基本使用水量	常時使用水量					未達水量
		目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B-A)	達 成 率		
					令和元年度 (B/A)	平成30年度	
10月	3,044	1,664	1,669	5	100.3%	100.3%	1,375
11月	3,695	1,610	2,584	974	160.5%	100.6%	1,112
12月	3,819	1,664	2,670	1,006	160.5%	100.5%	1,149
1月	3,819	2,735	2,670	△ 65	97.6%	162.0%	1,149
2月	3,572	2,559	2,498	△ 61	97.6%	162.1%	1,075
3月	3,044	1,664	1,665	1	100.1%	98.6%	1,378
下半期計	20,992	11,896	13,755	1,859	115.6%	—	7,237
前年度下半期計	19,344	9,921	11,914	1,993	—	120.1%	7,430

※令和元年度年間常時使用水量(目標) 21,718千m³

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 給水料金収入

(消費税込み 単位：千円)

区 分	目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B-A)	達 成 率	
				令和元年度 (B/A)	平成30年度
常時使用水量分	136,085	157,356	21,271	115.6%	120.1%
未達水量分	49,911	47,765	△ 2,146	95.7%	93.6%
下半期計	185,996	205,120	19,124	110.3%	—
前年度下半期計	162,876	181,962	19,086	—	111.7%

※料金単価 基本料金：10.4円/m³、未達料金：6.0円/m³、超過料金：20.8円/m³

常時使用水量分の実績には超過料金分を含みます。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 職員の状況

(単位：人)

区 分	事 務 職	技 術 職	その他職員	職 員 計	うち再任用職員
下半期	0	6.9	0	6.9	1
前年度下半期	0	6.9	0	6.9	1

※各年度3月31日現在の人員(管理者を除く。)

※各年度とも0.9人は地域振興事業会計との兼務

2 経理の状況

収益的収入については、営業収益の増等により、事業収益の収入率は 106.7%となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は87.2%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	351,152	370,808 (205,740)	19,656	105.6%
営業外収益	39,822	46,255 (24,523)	6,433	116.2%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	390,974	417,063	26,089	106.7%
前年度事業収益	374,982	417,454	42,472	111.3%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
営業費用	359,978	309,762 (201,755)	14,479	35,737	89.7%
営業外費用	644	623 (410)	0	21	96.7%
特別損失	0	0 (0)	0	0	—
予備費	10,000	0 (0)	0	10,000	0.0%
事業費	370,622	310,385	14,479	45,758	87.2%
前年度事業費	356,963	290,361	7,560	59,042	83.1%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 資本的収入及び支出（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

ア 収入 （消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
資本的収入	0	0	0	-
前年度資本的収入	0	0	0	-

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出 （消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	565,869	328,598 (162,769)	206,898	30,373	91.5%
企業債償還金	4,233	4,233 (2,133)	0	0	100.0%
借入金償還金	60,000	60,000 (60,000)	0	0	100.0%
予備費	10,000	0 (0)	0	10,000	0.0%
資本的支出	640,102	392,830	206,898	40,374	90.7%
前年度資本的支出	319,008	119,837	179,421	19,750	85.9%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 100万円以上）

令和元年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・高速凝集沈殿池設備更新工事

160,837千円

(3) 損益計算書（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

収益の部は、給水収益等により3億8,117万円余となり、費用の部は、2億9,886万円余となった結果、8,230万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	381,173 (207,707)	
営業収益	340,014 (187,041)	給水収益など
営業外収益	41,159 (20,666)	
特別利益	0 (0)	
費用の部	298,868 (192,579)	
営業費用	298,242 (192,166)	
営業外費用	626 (413)	
特別損失	0 (0)	
当年度純利益	82,305	
その他未処分利益剰余金変動額	64,233	
当年度未処分利益剰余金	146,538	

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(4) 貸借対照表（令和2年3月31日現在）

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	2,228,473	固定負債	2,080,132
有形固定資産	2,205,334	建設改良企業債	4,364
無形固定資産	1,713	建設改良他会計借入金	840,000
固定資産仮勘定	21,276	その他の他会計借入金	1,191,225
投資その他の資産	149	引当金	44,542
流動資産	2,193,052	流動負債	195,263
現金及び預金	107,988	建設改良企業債	4,370
未収金	44,204	建設改良他会計借入金	60,000
貯蔵品	860	未払金	67,463
雑流動資産	2,040,000	未払費用	58,110
		預り金	1,144
		引当金	4,176
		繰延収益	429,698
		長期前受金	836,212
		長期前受金収益化累計額	△ 406,515
		負債合計	2,705,093
		資本金	574,768
		固有資本金	2,906
		組入資本金	571,862
		剰余金	1,141,664
		資本剰余金	1,170
		利益剰余金	1,140,495
		資本合計	1,716,432
資産合計	4,421,525	負債資本合計	4,421,525

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

令和2年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科目	金額	内容
有形固定資産	2,205,334	土地 11,913
		建物 94,533
		構築物 1,664,931
		機械及び装置 433,220
		備品 737
無形固定資産	1,713	電話加入権 569
		ソフトウェア 1,144
固定資産仮勘定	21,276	建設仮勘定 21,276
投資その他の資産	149	出資金 140
		長期前払金 9
現金及び預金	107,988	当座預金 107,988
未収金	44,204	
貯蔵品	860	
雑流動資産	2,040,000	
合計	4,421,525	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 企業債

令和2年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
財務省	177,000	171,269	5,731	
総務省	455,000	455,000	0	
地方公共団体金融機構	780,000	776,996	3,004	
宮崎銀行	717,000	717,000	0	
合計	2,129,000	2,120,265	8,735	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 一時借入金

令和2年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

令和2年3月31日現在の他会計借入金の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	借入総額	償還額累計	未償還残高	備考
一般会計	1,746,606	1,746,606	0	償還率 55.2%
電気事業会計	2,924,405	833,180	2,091,225	
合計	4,671,011	2,579,786	2,091,225	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

4 令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については、工業用水の安定供給に努め、県北地域の経済振興に寄与していくとともに、更なる経営の安定化を図るため、引き続き費用抑制に努めます。

(2) 業務予定量

年間総給水量は、13社との契約水量に加え、日向市への給水量を見込み、3,806万 m^3 余としています。料金収入は、日向市への給水により常時使用水量が増となることから、前年度に比べ1,113万円余の増を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	令和2年度	令和元年度	前年度比
年間総給水量 (目標)	千 m^3 38,067	千 m^3 37,416	101.7%
料金収入 (目標)	千円 360,175	千円 349,036	103.2%

(3) 当初予算額

事業収益は、営業収益の増等により昨年度に比べ1,866万円余の増、事業費は営業費用の増等により4,458万円余の増を見込んでいます。その結果、収支残は199万円余(対前年度比92.9%減)を見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	409,642	390,974	18,668	営業収益の増
	事業費	407,651	363,062	44,589	営業費用の増
	収支残	1,991	27,912	△ 25,921	
資本的 収支	資本的収入	1	0	1	
	資本的支出	271,358	460,681	△ 189,323	建設改良費の減
	収支残	△ 271,357	△ 460,681	189,324	

※資本的収支の不足額 271,357千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする予定

5 むすび

以上が、工業用水道事業の令和元年度下半期の業務状況と令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、健全経営の維持に努め、低廉な工業用水を安定的に供給し、本県の産業振興に寄与してまいります。

地域振興事業の業務状況

地域振興事業の令和元年度下半期の業務状況と令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、一ツ瀬川の河川敷を利用してゴルフ場などを整備し、平成2年11月から営業を行っています。

令和元年度下半期の利用者数は13,338人で、降雨の影響や新型コロナウイルス感染拡大防止対策に係る臨時休業等により目標を3,362人下回り、目標に対する達成率は79.9%となりました。また、施設利用料収入は指定管理者からの納付金を1,508万8千円余減額し、1,234万円余の純損失を計上しました。

(1) ゴルフコース利用状況

(単位：人)

月別	目標 (A)	実績 (B)			比較 (B-A)	達成率	
		平日	休日	合計		令和元年度 (B/A)	平成30年度
10月	2,800	1,405	1,014	2,419	△ 381	86.4%	67.8%
11月	3,000	1,717	966	2,683	△ 317	89.4%	87.4%
12月	3,000	1,768	940	2,708	△ 292	90.3%	72.4%
1月	2,900	1,419	1,181	2,600	△ 300	89.7%	92.9%
2月	2,500	1,454	932	2,386	△ 114	95.4%	86.9%
3月	2,500	472	70	542	△ 1,958	21.7%	84.1%
下半期計	16,700	8,235	5,103	13,338	△ 3,362	79.9%	—
前年度下半期計	17,900	9,022	5,621	14,643	△ 3,257	—	81.8%

※平日の65歳以上の利用者数は7,209人で下半期全体の54.0%

(2) 施設利用料収入（納付金）

(消費税込み 単位：千円)

区分	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				令和元年度 (B/A)	平成30年度
下半期計	8,965	0	△ 8,965	0.0%	—
前年度下半期計	10,800	9,981	△ 819	—	92.4%

(3) 職員の状況

(単位：人)

区分	事務職	技術職	その他職員	職員計	うち再任用職員
下半期	0	0.1	0	0.1	0.1
前年度下半期	0	0.1	0	0.1	0.1

※各年度3月31日現在の人員（管理者を除く。）

※各年度とも0.1人は工業用水道事業会計との兼務

2 経理の状況

収益的収入については、営業収益の減等により事業収益の収入率は53.8%となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は81.1%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	9,630	2,803 (△ 6,124)	△ 6,827	29.1%
営業外収益	2,288	3,605 (1,976)	1,317	157.6%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	11,918	6,408	△ 5,510	53.8%
前年度事業収益	24,624	20,688	△ 3,936	84.0%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B/A)
営業費用	21,032	17,746 (7,091)	3,286	84.4%
営業外費用	312	218 (105)	94	69.9%
特別損失	0	0 (0)	0	—
予備費	800	0 (0)	800	—
事業費	22,144	17,964	4,180	81.1%
前年度事業費	29,529	27,672	1,857	93.7%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 資本的収入及び支出（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
出資金返還金	700	0 (0)	△ 700	0.0%
固定資産売却代金	0	23 (23)	23	0.0%
資本的収入	700	23	△ 677	3.3%
前年度資本的収入	700	700	0	100.0%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	21,227	8,761 (8,761)	7,633	4,833	64.4%
借入金償還金	9,968	9,968 (9,968)	0	0	100.0%
雑支出	10	9 (9)	0	1	90.0%
予備費	2,997	0 (0)	0	2,997	0.0%
資本的支出	34,202	18,738	7,633	7,831	70.5%
前年度資本的支出	21,608	10,080	0	11,528	46.6%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 100万円以上）

令和元年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・ 一ツ瀬川県民スポーツレクリエーション施設便所洋式化改良工事 1,178千円

(3) 損益計算書（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

収益の部は、施設利用料等により 553万円余となり、費用の部は、1,788万円余となった結果、1,234万円余の純損失を計上しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	5,537 (△ 4,366)	
営業収益	2,608 (△ 5,667)	施設利用料など
営業外収益	2,929 (1,300)	
特別利益	0 (0)	

費用の部	17,884 (7,245)	
営業費用	17,608 (6,969)	
営業外費用	276 (276)	
特別損失	0 (0)	

当年度純利益（△は純損失）	△ 12,347	
その他未処分利益剰余金変動額	656	
当年度未処理欠損金	△ 11,690	

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(4) 貸借対照表（令和2年3月31日現在）

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	646,991	固定負債	723,609
スポーツ・レクリエーション施設	646,965	建設改良他会計借入金	723,130
投資その他の資産	25	引当金	479
流動資産	223,822	流動負債	29,413
現金及び預金	14,747	建設改良他会計借入金	9,968
未収金	1,075	引当金	30
雑流動資産	208,000	未払金	18,191
		未払費用	1,225
		繰延収益	1,285
		長期前受金	2,005
		長期前受金収益化累計額	△ 720
		負債合計	754,307
		資本金	97,935
		組入資本金	97,935
		剰余金	18,571
		資本剰余金	5
		利益剰余金	18,565
		資本合計	116,506
資産合計	870,812	負債資本合計	870,812

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

令和2年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科 目	金 額	内 容	
スポーツ・レクリエーション施設	646,965	土地	28,457
		建物	84,854
		構築物	515,263
		機械及び装置	611
		備品	17,782
投資その他の資産	25	長期前払金	25
現金及び預金	14,747	当座預金	14,747
未収金	1,075		
雑流動資産	208,000		
合 計	870,812		

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 企業債

令和2年3月31日現在、企業債の残高はありません。

(3) 一時借入金

令和2年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

令和2年3月31日現在の他会計借入金の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	借入総額	償還額累計	未償還残高	備 考
電気事業会計	895,000	161,902	733,098	
合 計	895,000	161,902	733,098	償還率 18.1%

4 令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については、平成18年度から指定管理者制度を導入し、利用者のサービス向上を図っているところであり、引き続き指定管理者と緊密に連携しながら、利用促進に努めてまいります。

(2) 業務予定量

年間利用者数（目標）は31,500人とし、施設利用料は1,932万円余を見込んでいます。

（消費税込み）

区 分	令和2年度	令和元年度	前年度比
年間利用者数 （目標）	人 31,500	人 31,500	100.0%
施設利用料 （目標）	千円 19,323	千円 19,853	97.3%

(3) 当初予算額

事業収益は、営業収益の減等により昨年度に比べ60万円余の減、事業費は、営業外費用の増等により7万円余の増を見込んでいます。その結果、収支残は16万円余（対前年度比80.6%減）を見込んでいます。

（消費税込み 単位：千円）

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増 減 (A - B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	21,668	22,272	△ 604	営業収益の減
	事業費	21,504	21,425	79	営業外費用の増
	収支残	164	847	△ 683	
資本的 収支	資本的収入	0	700	△ 700	出資金返還金の減
	資本的支出	22,380	22,932	△ 552	建設改良費の減
	収支残	△ 22,380	△ 22,232	△ 148	

※資本的収支の不足額22,380千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする予定

5 むすび

以上が、地域振興事業の令和元年度下半期の業務状況と令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、幅広く県民に親しまれるゴルフ場を目指し、施設の適切な管理運営など利用者のサービス向上に努め、公共の福祉の増進に寄与してまいります。

令和元年度下半期

(令和元年10月1日から令和2年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

県立病院事業

宮崎県病院局

目 次

県立病院事業の業務状況

1	事業の概況	20	頁
2	経理の状況	21	〃
3	企業債及び借入金の現在高	22	〃
4	令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要	23	〃

県立病院事業の業務状況

県立病院事業の令和元年度下半期の業務状況と令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

令和元年度下半期の事業の概況は、次のとおりです。

(1) 患者の概況

令和元年度下半期における利用患者数は、延入院患者数167,729人、延外来患者数177,384人で、前年度同期と比較すると、入院で1,094人、外来で3,569人減少しています。

ア 延入院患者数（下半期）

（単位：人、％）

病院名	元年度	30年度	増 減	増減率
宮崎病院	70,178	74,082	△ 3,904	△ 5.3
延岡病院	56,126	56,962	△ 836	△ 1.5
日南病院	41,425	37,779	3,646	9.7
計	167,729	168,823	△ 1,094	△ 0.6

イ 延外来患者数（下半期）

（単位：人、％）

病院名	元年度	30年度	増 減	増減率
宮崎病院	83,420	84,953	△ 1,533	△ 1.8
延岡病院	50,699	51,386	△ 687	△ 1.3
日南病院	43,265	44,614	△ 1,349	△ 3.0
計	177,384	180,953	△ 3,569	△ 2.0

(2) 職員の状況

（単位：人）

年度	職種								計
	医 師	薬剤師	診 療 放射線 技 師	臨 床 検 査 技 師	そ の 他 の 医 療 技 術 員	看護師等	事務員		
30年度	200	46	47	54	85	1,095	65	1,592	
元年度	208	49	47	57	87	1,102	68	1,618	
増 減	8	3	0	3	2	7	3	26	

※ 各年度3月31日現在です。また、管理者を除いた数です。

2 経理の状況

(1) 収益的収支（下半期）

令和元年度下半期の収益的収支の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	収 益 (A)				費 用 (B)				差引 A-B
	医業収益	医業外収益	特別利益	計	医業費用	医業外費用	特別損失	計	
宮崎病院	6,390,993	855,090	0	7,246,083	7,590,827	348,118	0	7,938,945	△ 692,863
延岡病院	5,577,940	712,991	0	6,290,931	5,759,323	390,379	0	6,149,702	141,229
日南病院	2,758,031	468,243	109,167	3,335,441	3,201,220	202,278	0	3,403,498	△ 68,058
計	14,726,964	2,036,323	109,167	16,872,455	16,551,370	940,775	0	17,492,146	△ 619,691

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(2) 資本的収支（下半期）

令和元年度下半期の資本的収支の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

収 入		支 出	
企 業 債	1,731,800	建 設 改 良 費	1,262,610
一 般 会 計 負 担 金	812,214	企 業 債 償 還 金	1,361,421
そ の 他 資 本 収 入	1,800	投 資	1,800
計	2,545,814	計	2,625,831
		収支差引	△ 80,017

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(3) 貸借対照表

令和2年3月31日現在の貸借対照表は、次のとおりです。

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
固定資産	30,952,829	固定負債	23,571,469
流動資産	18,264,496	流動負債	17,087,094
繰延資産	0	繰延収益	2,434,871
		負債合計	43,093,433
		資本金	12,743,396
		剰余金	△ 6,619,504
		資本合計	6,123,892
資産合計	49,217,325	負債・資本合計	49,217,325

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

3 企業債及び借入金の現在高

(1) 企業債明細表

令和2年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	発行総額	償還額		未償還残高
		当年度	累計	
宮崎病院	7,876,000	595,768	1,761,435	6,114,565
延岡病院	23,519,270	1,193,876	13,662,129	9,857,141
日南病院	17,781,930	920,877	10,230,414	7,551,516
計	49,177,200	2,710,521	25,653,977	23,523,223

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(2) 一般会計借入金

なし

(3) 一時借入金

令和2年3月31日現在の一時借入金の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	発行総額	償還額		未償還残高
		当年度	累計	
宮崎病院	1,251,700	0	0	1,251,700
延岡病院	0	0	0	0
日南病院	0	0	0	0
計	1,251,700	0	0	1,251,700

4 令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 経営方針

公共の福祉の増進と経済性の発揮との調和を図りながら、本県の中核病院としての医療水準・患者サービスの向上と県民医療の確保を図ることを基本としています。

(2) 年間患者数（目標）

（単位：人）

	2年度目標	元年度予算	増減
延入院患者数	357,700	362,445	△ 4,745
延外来患者数	370,575	375,028	△ 4,453
計	728,275	737,473	△ 9,198

(3) 予算の概要

ア 収益的収入及び支出

収入

（単位：千円）

款	項	目	予定額	備考
病院事業収益	医業収益	入院収益	22,847,719	
		外来収益	7,716,384	
		一般会計負担金	657,142	
		その他医業収益	388,491	
	医業外収益	受取利息配当金	1,000	
		一般会計負担金	2,099,420	
		一般会計補助金	477,817	
		補助金	52,793	
		長期前受金戻入	1,473,126	
		その他医業外収益	107,001	
	特別利益		309,143	

支出

（単位：千円）

款	項	目	予定額	備考
病院事業費用	医業費用	給与費	17,122,902	
		材料費	9,636,476	
		経費	5,656,153	
		減価償却費	2,585,148	
		資産減耗費	84,021	
		研究研修費	188,451	
	医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	381,922	
		雑損失	59,638	
		消費税及び地方消費税	15,000	
		繰延勘定償却	0	
		長期前払消費税勘定償却	116,526	
特別損失		0		
予備費		3,000		

イ 資本的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備考
資本的収入	企業債 一般会計負担金		17,008,281	
		企業債	14,965,800	
		企業債	14,965,800	
		一般会計負担金	2,042,481	
		一般会計負担金	2,042,481	

支出

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備考
資本的支出	建設改良費 企業債償還金 投資 予備費		18,650,466	
		改築整備費	15,271,164	
		改良工事費	12,706,416	
		資産購入費	973,060	
		リース資産購入費	1,457,187	
		リース資産購入費	134,501	
		企業債償還金	3,342,302	
		企業債償還金	3,342,302	
		投資	36,000	
		投資	36,000	
		予備費	1,000	

5 むすび

県立病院事業の令和元年度下半期の業務状況と令和2年度の事業の経営方針及び予算の概要は、以上のとおりです。

今後とも本県の中核病院として機能充実と経営健全化に向けた努力を重ねながら、より良い医療サービスの確保に努力してまいります。